

以下の通り、第26期定時総会・特別講演会・27期第1回講演討論会の開催を予定しております。
しかしながら、新型コロナウイルス感染症の情勢に応じては、今後、開催の変更・中止の可能性もございます。その際には、日本伝熱学会関西支部ホームページなどでご案内いたします。(2020年3月20日)

日本伝熱学会関西支部 第26期定時総会 特別講演会、第27期第1回講演討論会のお知らせ

日時：2020年5月8日(金) 13:00~17:00

会場：大阪府立大学 I-site なんば 2Fカンファレンスルーム (C2,C3)

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2丁目 1番 41号 南海なんば第1ビル

<https://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>



13:00~13:30 関西支部第26期定時総会

13:40~15:00 特別講演会

13:40~15:00 小澤 守 氏 (関西大学)

題目：ボイラにおける伝熱流動の諸問題

概要：ボイラ技術の発展は、同時に生起する各種問題を克服してきた歴史でもある。この講演では、火力ボイラを中心として、各種の課題を概観し、それらがどのように解決され、またそれらからどのような研究分野が展開してきたか、今一度振り返ってみたい。

15:00~15:10 休憩

15:10~16:50 第27期第1回講演討論会

15:10~15:50 井上 健司 氏 (川崎重工業)

題目：国際水素サプライチェーン構築への取り組み

概要：世界的な地球温暖化対策が叫ばれる中、日本はもとより、欧・米、豪州、中国などを中心に脱CO₂の動きが活発化しており、エネルギーのほとんどを輸入に頼る日本においては、今までの化石燃料中心のサプライチェーンから新たなフェーズへの移行が求められている。ここでは、官民上げて取り組んでいる国際水素サプライチェーンについてのロードマップ、それに基づく日豪パイロットチェーンプロジェクトの進捗について紹介する。

15:50~16:20 出島 一仁 氏 (滋賀県立大学)

題目：MEMS センサを用いたエンジン壁面熱伝達の研究

概要：内燃機関の冷却損失低減へ向けて、燃焼ガスと壁面間の熱伝達メカニズムの解明

が求められている。本研究では、優れた分解能を持つ MEMS センサを適用することで、燃焼室内の高速かつ複雑な伝熱現象を捉えることを目指している。ここでは、これまでの取り組みとその成果について紹介する。

16:20~16:50 原 峻平 氏 (同志社大学)

題 目： 粘弾性流体のせん断乱流に現れる組織的構造の輸送機構

概 要： 液体の壁乱流に、粘弾性の性質を与える高分子物質を適切に分散させると、乱流輸送係数が大幅に低下するとともに、壁面にかかる摩擦が最大 80%程小さくなる。この抵抗低減率の驚くべき高さに目が奪われる一方で、これを決定づける乱流素過程については未だ不明な点が多い。本講演では、せん断乱流の素過程にある組織的構造（準秩序的運動）とその輸送機構について紹介する。

16:50~17:00 写真撮影

18:00~20:00 意見交換会

意見交換会の開催可否については、後日、改めてご案内いたします。

ご出席を神戸高専 熊野智之 (tkumano@kobe-kosen.ac.jp) 宛てに『4月28日(火)』迄にお知らせください。

大阪府立大学 I-Siteなんば 交通アクセス

- 南海電鉄「なんば駅(中央出口)」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」下車、西へ約450m、徒歩約7分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分

(ご注意) 建物北側の大阪府立大学専用入口からお入りください。



開校準備中